

【引受保険会社】

Global Partner/Net VA

グローバルパートナー/Net VA

アクサ生命保険株式会社 

redefining / standards

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

* Global Partnerおよび Net VA は、弊社変額個人年金保険の販売名称です。

月次運用レポート

2011年9月

【利用する投資信託の委託会社】

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社


redefining / investment solutions

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

アライアンス・バーンスタイン* / アライアンス・バーンスタイン株式会社



米国ニューヨークに本社を置くアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーを中核とするアライアンス・バーンスタインは、業界最大級のグローバルな調査体制を擁する世界有数の運用会社として、グロース株式、バリュー株式、債券、ブレンド戦略など、幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。

アライアンス・バーンスタイン株式会社は、アライアンス・バーンスタインの日本拠点で、1986年(アライアンス・キャピタル・マネジメント・ジャパン・インク 東京支店の設立)以来、個人投資家や機関投資家の皆様に幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。

*アライアンス・バーンスタインには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)(*)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

* 金融商品取引法の2007年9月30日完全施行により配布を開始しております。

変額個人年金保険

特別勘定の月次運用レポート (2011年9月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2011年9月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、下落し、TOPIX(東証株価指数)は前月末比▲1.22%下落の761.17ポイントで終了しました。

上旬は、米国景気の減速懸念が強まったことや、欧州債務問題の深刻化などを受けて下落しました。その後も、円高による輸出企業の業績圧迫や不安定な推移が続く欧米株式市場を睨みながら軟調な展開となりました。下旬にかけては、欧州債務問題についてESFS(欧州金融安定化基金)への機能拡充への動きが見られたことから、当局の対応が進展するとの期待が広がり、上昇に転じて月末を迎えました。

業種別(東証33業種)では、円高による原材料費低下を期待して「水産・農林業」(前月末比+6.73%)が最も上昇した一方、市況下落を受けて「非鉄金属」(同▲12.32%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、8月の米雇用統計が市場予想を下回ったことを受けて、下落して始まりました。その後、各国主要中央銀行の協調による欧州へのドル資金供給などを受けて一時反発したものの、FRB(米連邦準備制度理事会)が景気の下振れリスクを指摘したことから再び下落に転じ、NYダウは前月末比▲6.03%下落の10,913.38ドルで終了しました。

欧州株式市場も、欧州債務問題の深刻化を受けて下落しましたが、下旬にドイツ議会がESFSの機能拡充を承認したことなどから、やや値を戻して月末を迎えました。市場別騰落率は、英FT100が前月末比▲4.93%下落、仏CAC40が同▲8.44%下落、独DAXは同▲4.89%下落となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、揉み合いでの推移が続く、新発10年国債利回りは1.02%となりました(前月末は1.03%)。

株式市場が軟調に推移したことや、欧州債務問題、米国景気の減速懸念、日銀の追加的な金融緩和期待などから、上旬に金利は1%を割り込みました。その後、発表された経済指標が強弱交錯したことなどから方向感に欠ける展開が続く、概ね1.0%前後での推移が続きました。月末にかけては、株価が値を戻したことなどから、やや売り優勢の展開となりました。

日銀は、政策金利を据え置き、年0~0.1%程度を維持しました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、8月の米雇用統計が予想を下回ったことなどから米国景気の減速懸念が強まったことや、FOMCによる長期債の保有比率を高めるツイスト・オペ実施示唆などを受けて金利は低下し、米10年国債利回りは、月末は1.915%となりました(前月末は2.223%)。

欧州債券市場は、欧州債務問題の深刻化を受けて金利は低下し、独10年国債利回りは、月末には1.887%となりました(前月末は2.219%)。

FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0~0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は政策金利を据え置き、年1.50%を維持しました。

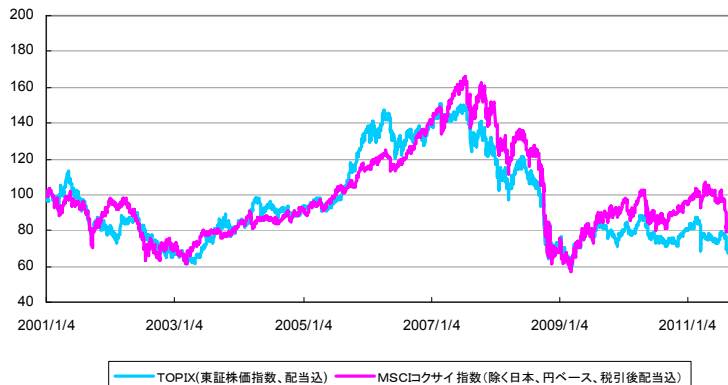
【外国為替市場】

米ドル/円相場は、スイス中銀が通貨高抑制のため無制限の外貨購入を発表したことや政府・日銀による介入への警戒感などから、中旬にかけて円安ドル高になりました。しかしその後、欧州債務問題や米国景気の減速懸念などを背景としたリスク回避の買い圧力などから、円高となり、76円台での推移となりました。円は対ドルで前月末比0円09銭(+0.12%)円高ドル安の1ドル=76円65銭となりました。

ユーロ/円相場は、株価の下落や欧州債務問題の深刻化などを受けてリスク回避の動きが強まり、月を通して円高が進行しました。円は対ユーロで前月末比6円60銭(+5.96%)円高ユーロ安の1ユーロ=104円11銭となりました。

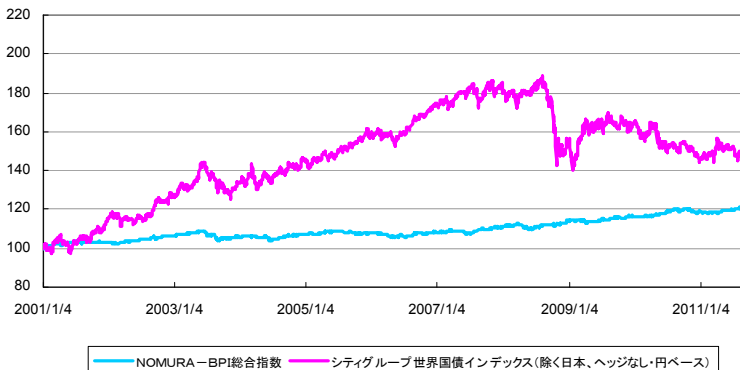
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

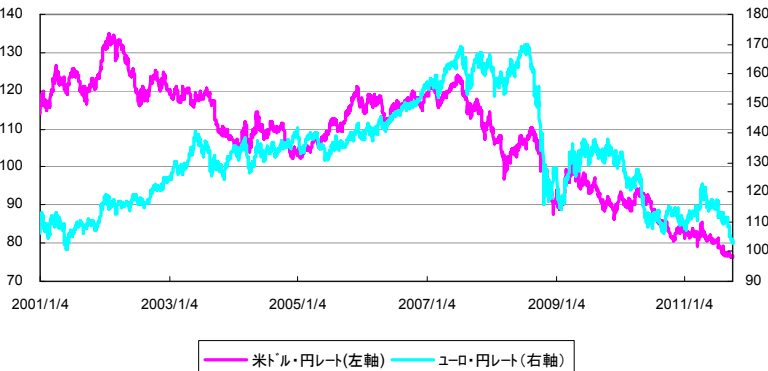


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所: 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険

特別勘定の月次運用レポート (2011年9月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の種類と運用方針について

特別勘定名	基本資産 配分比率	運用方針	利用する投資信託	
			投資信託名	委託会社
ライフ・ソリューション30	株式 30%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の30%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。	アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 安定型(B) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
	債券 70%			
ライフ・ソリューション50	株式 50%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の50%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。	アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 安定成長型(B) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
	債券 50%			
ライフ・ソリューション70	株式 70%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の70%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。	アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 成長型(B) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
	債券 30%			
日本株式	日本株式 100%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。	アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
世界株式	世界株式 100%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国(日本を含む)の株式を投資対象に成長の可能性が高いと判断される「セクター」の中から、成長性が高いと思われる銘柄に投資し、信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。実質組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズH(為替ヘッジあり)	アライアンス・バーンスタイン株式会社
世界債券	世界債券 100%	主として多種通貨建の投資適格格付確定利付証券に投資し、利息、配当収益、割引債券における償還差益および元本の変動等をもって、信託財産の長期的な成長を図ることをめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	アライアンス・バーンスタイン グローバル・ボンド・ポートフォリオ(クラス)受益証券	アライアンス・バーンスタイン・エル・ビー
マネープール	短期金融資産 100%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。	アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

※ 特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

※ 特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

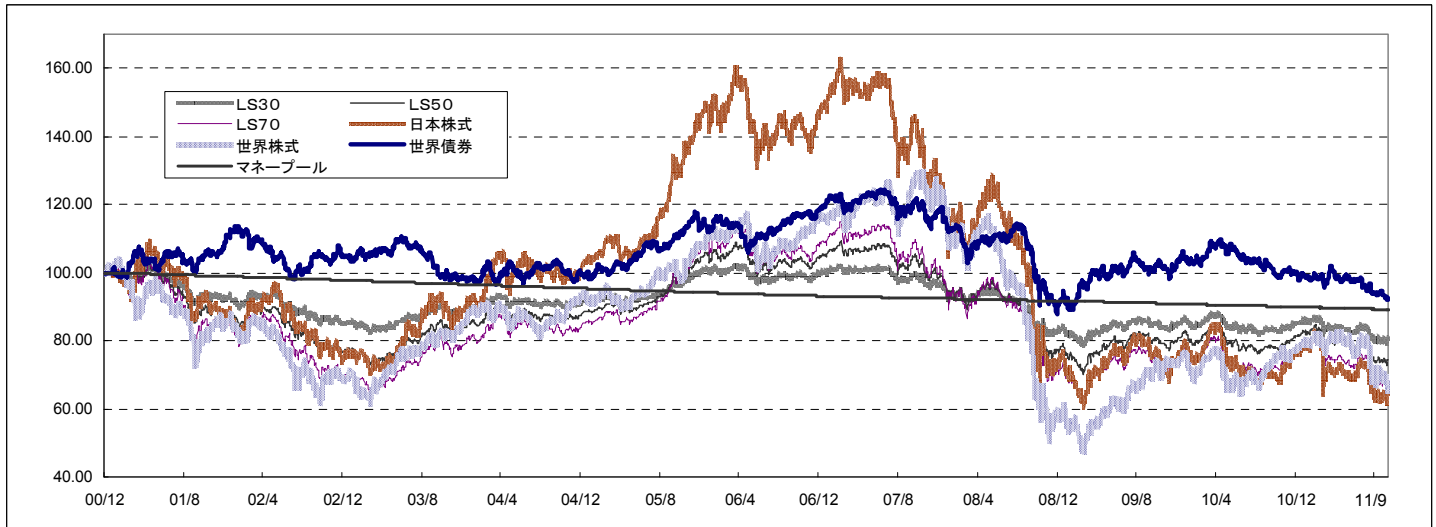
変額個人年金保険 特別勘定の月次運用レポート (2011年9月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2011年9月 末日現在]

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ライフ・ソリューション30			
ユニットプライス	騰落率 (%)		
2011年9月末	80.26	過去1ヵ月	▲ 0.42
2011年8月末	80.60	過去3ヵ月	▲ 3.88
2011年7月末	83.17	過去6ヵ月	▲ 4.74
2011年6月末	83.50	過去1年	▲ 3.44
2011年5月末	83.39	過去3年	▲ 8.71
2011年4月末	84.08	設定来	▲ 19.73

ライフ・ソリューション50			
ユニットプライス	騰落率 (%)		
2011年9月末	74.57	過去1ヵ月	▲ 0.57
2011年8月末	74.99	過去3ヵ月	▲ 6.12
2011年7月末	78.92	過去6ヵ月	▲ 7.30
2011年6月末	79.43	過去1年	▲ 4.34
2011年5月末	79.15	過去3年	▲ 12.54
2011年4月末	80.09	設定来	▲ 25.43

ライフ・ソリューション70			
ユニットプライス	騰落率 (%)		
2011年9月末	68.34	過去1ヵ月	▲ 0.75
2011年8月末	68.86	過去3ヵ月	▲ 8.29
2011年7月末	73.87	過去6ヵ月	▲ 9.77
2011年6月末	74.52	過去1年	▲ 5.33
2011年5月末	74.12	過去3年	▲ 16.48
2011年4月末	75.29	設定来	▲ 31.65

日本株式			
ユニットプライス	騰落率 (%)		
2011年9月末	64.52	過去1ヵ月	▲ 0.01
2011年8月末	64.52	過去3ヵ月	▲ 10.23
2011年7月末	71.46	過去6ヵ月	▲ 11.80
2011年6月末	71.87	過去1年	▲ 7.41
2011年5月末	70.97	過去3年	▲ 32.32
2011年4月末	71.82	設定来	▲ 35.48

世界株式			
ユニットプライス	騰落率 (%)		
2011年9月末	66.22	過去1ヵ月	▲ 6.83
2011年8月末	71.08	過去3ヵ月	▲ 15.80
2011年7月末	78.87	過去6ヵ月	▲ 18.14
2011年6月末	78.66	過去1年	▲ 9.36
2011年5月末	80.51	過去3年	▲ 13.61
2011年4月末	82.88	設定来	▲ 33.77

世界債券			
ユニットプライス	騰落率 (%)		
2011年9月末	92.67	過去1ヵ月	▲ 0.90
2011年8月末	93.51	過去3ヵ月	▲ 5.35
2011年7月末	94.90	過去6ヵ月	▲ 7.03
2011年6月末	97.92	過去1年	▲ 9.51
2011年5月末	98.34	過去3年	▲ 11.96
2011年4月末	99.00	設定来	▲ 7.32

※ 特別勘定のユニットプライスは、2000年12月18日のプライスを100.00として計算しています。
 ※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。
 ※ 各特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページ(下記参照)、
 およびインターネット対応の携帯電話 (<https://online.axa.co.jp/ClientWeb/mobile.jsp>)にて各営業日に
 ご確認いただくことができます。

マネーパール			
ユニットプライス	騰落率 (%)		
2011年9月末	89.13	過去1ヵ月	▲ 0.12
2011年8月末	89.24	過去3ヵ月	▲ 0.31
2011年7月末	89.33	過去6ヵ月	▲ 0.58
2011年6月末	89.41	過去1年	▲ 1.09
2011年5月末	89.49	過去3年	▲ 2.95
2011年4月末	89.57	設定来	▲ 10.86

■特別勘定資産の内訳

項目	ライフ・ソリューション30		ライフ・ソリューション50		ライフ・ソリューション70	
	金額(千円)	比率 (%)	金額(千円)	比率 (%)	金額(千円)	比率 (%)
現預金・その他	38,052	1.3	46,035	0.8	18,747	0.6
その他有価証券	2,886,189	98.7	5,757,114	99.2	3,136,824	99.4
合計	2,924,241	100.0	5,803,149	100.0	3,155,572	100.0

項目	日本株式		世界株式		世界債券		マネーパール	
	金額(千円)	比率 (%)	金額(千円)	比率 (%)	金額(千円)	比率 (%)	金額(千円)	比率 (%)
現預金・その他	41,179	1.5	13,525	0.7	24,682	1.1	47,622	11.0
その他有価証券	2,784,545	98.5	1,909,710	99.3	2,148,959	98.9	386,087	89.0
合計	2,825,724	100.0	1,923,235	100.0	2,173,641	100.0	433,709	100.0

※ 各特別勘定で利用している国内投資信託並びに外国投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
 ※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

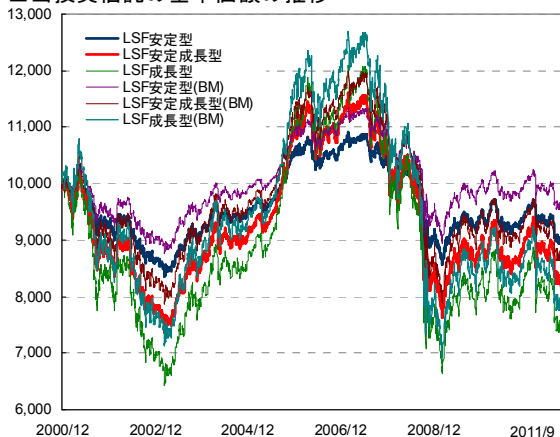
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険 特別勘定の月次運用レポート (2011年9月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 ライフ・ソリューション30・50・70 [2011年9月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



■利用する投資信託について

【投資信託名】 LS30 ⇒ アクサ ローゼンバーク・ライフ・ソリューション・ファンド 安定型(B) (適格機関投資家私募)
 LS50 ⇒ アクサ ローゼンバーク・ライフ・ソリューション・ファンド 安定成長型(B) (適格機関投資家私募)
 LS70 ⇒ アクサ ローゼンバーク・ライフ・ソリューション・ファンド 成長型(B) (適格機関投資家私募)

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の30%・50%・70%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主として
 アクサ ローゼンバーク・日本株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)、
 アクサ ローゼンバーク・米国株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)、
 アクサ ローゼンバーク・欧州株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)、
 アクサ ローゼンバーク・日本債券マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)、
 アクサ ローゼンバーク・日本円マネー・プール・マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)
 に投資します。

※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

* LS: 特別勘定 ライフ・ソリューション
 * LSF: アクサ ローゼンバーク・ライフ・ソリューション・ファンド

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
LSF安定型	▲0.32%	▲3.64%	▲4.23%	▲2.31%	▲5.47%	▲9.67%
BM	▲0.40%	▲3.15%	▲3.65%	▲1.82%	▲4.06%	▲3.75%
差	0.08%	▲0.48%	▲0.58%	▲0.50%	▲1.41%	▲5.92%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※「BM」とは、合成ベンチマークを指します。合成ベンチマークの組合せの比率は以下のとおりです。

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
LSF安定成長型	▲0.47%	▲5.88%	▲6.79%	▲3.16%	▲9.46%	▲16.53%
BM	▲0.69%	▲5.37%	▲6.31%	▲3.29%	▲9.18%	▲12.55%
差	0.22%	▲0.51%	▲0.48%	0.13%	▲0.28%	▲3.98%

	LSF安定型	LSF安定成長型	LSF成長型
東証株価指数(TOPIX) ¹⁾	24.00%	40.00%	55.00%
S&P500種株価指数 ²⁾ (為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)	3.00%	5.00%	7.50%
MSCI欧州株価指数 ³⁾ (為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)	3.00%	5.00%	7.50%
日興債券パフォーマンス・インデックス (総合 ⁴⁾ 、中期3年以上7年未満)	30.00%	25.00%	17.50%
日本円無担保コールオーバーナイト物レート ⁵⁾	40.00%	25.00%	12.50%

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
LSF成長型	▲0.66%	▲8.10%	▲9.33%	▲4.23%	▲13.63%	▲24.59%
BM	▲1.00%	▲7.60%	▲9.00%	▲4.85%	▲14.56%	▲21.06%
差	0.34%	▲0.50%	▲0.33%	0.62%	0.93%	▲3.53%

・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

■当投資信託の資産配分比率

	基本資産配分	LSF安定型	基本資産配分	LSF安定成長型	基本資産配分	LSF成長型
日本株式	24.00%	24.08%	40.00%	40.33%	55.00%	55.48%
米国株式	3.00%	2.84%	5.00%	4.68%	7.50%	7.22%
欧州株式	3.00%	0.86%	5.00%	2.72%	7.50%	5.05%
日本債券	30.00%	32.01%	25.00%	25.72%	17.50%	18.07%
短期金融資産等	40.00%	40.20%	25.00%	26.55%	12.50%	14.18%
合計	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

※ 各資産の投資信託欄は、原則、当投資信託における各マザー・ファンド保有率を記載しております。(短期金融資産等については、当投資信託で保有する現金等も含んでおります。)

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は、LSF30(安定型)、LSF50(安定成長型)、LSF70(成長型)それぞれ、前月末比▲0.32%、▲0.47%、▲0.66%となりました。一方、ベンチマークの騰落率は、前月末比▲0.40%、▲0.69%、▲1.00%となり、ベンチマーク対比+0.08%、+0.22%、+0.34%となりました。当月の当投資信託は、銘柄選択効果が奏功し、ベンチマークを上回る結果となりました。特に日本株式ファンドにおける銘柄選択がプラスの要因となりました。当月はイタリア国債や米国、フランス、イタリアの銀行の信用格下げが相次いで発表されるなど欧米経済は引き続き困難な状況に直面し、低迷する先進国経済への懸念が高まりました。米国は失業率が依然高いものの、生産面はプラスの領域にあり、景気の二番底は避けられるものと委託会社は予想しています。欧州は未だに債務危機に関する包括的な解決策を見出すことができず、年末には景気後退に至るとの見方も市場関係者の間にできています。欧州債務問題が更に深刻化した場合、世界的な厳しい不況となる可能性も考えられます。委託会社はこの欧州における問題は手に負えない状況にまで悪化するとはみていないものの、2012年初旬頃までには欧州圏経済の減速は続くだろうと予想しています。しかしながら世界経済は、好調な新興国や日本の震災後の復興需要などに牽引され、プラス成長の領域に留まるだろうと予想しています。新興国経済も減速感がみえ始めていますが、財政黒字国が多いことから財政政策を打ち出す余地があり、また、インフレも退潮で、金融政策の自由度も大きいことから、世界貿易の急激な落ち込みリスクを和らげる役目を果たすものと委託会社はみています。日本経済は震災後の回復力が弱まりつつありますが、2012年には復興需要に回復が見られるだろうと委託会社は予想しています。今後の当投資信託については、市場環境を鑑みながらベンチマークに対して株式の配分を中立或いは少なめにする方針です。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・5ページ~9ページに記載されている「1~7」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

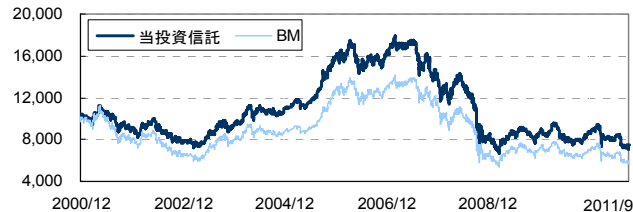
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険 特別勘定の月次運用レポート (2011年9月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 日本株式 [2011年9月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーク・日本バリュー株式ファンド(B) (適格機関投資家私募)
【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーク・日本バリュー株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.08%	▲10.12%	▲11.46%	▲6.06%	▲30.17%	▲25.75%
BM	▲1.22%	▲10.37%	▲12.45%	▲8.24%	▲30.00%	▲40.96%
差	1.30%	0.25%	0.99%	2.18%	▲0.17%	15.21%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)¹⁾です。

・ 比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○業種別構成比率

業種	マザーファンド
1 電気機器	11.04%
2 陸運業	9.69%
3 輸送用機器	8.17%
4 情報・通信業	7.57%
5 銀行業	7.55%
6 小売業	7.05%
7 卸売業	7.03%
8 化学	6.73%
9 その他業種	33.66%
10 現金等	1.51%
合計	100.00%

○市場別構成比率

市場	マザーファンド
1 東京証券取引所第一部	97.36%
2 大阪証券取引所第一部	0.87%
3 東京証券取引所第二部	0.19%
4 大阪証券取引所第二部	0.04%
5 名古屋証券取引所第一部	0.01%
6 ジャスダック証券取引所	0.01%
7 名古屋証券取引所第二部	0.01%
8 現金等	1.51%
合計	100.00%

○組入上位10銘柄

銘柄	業種	マザーファンド
1 本田技研工業	輸送用機器	3.66%
2 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.41%
3 日本電信電話	情報・通信業	3.39%
4 パナソニック	電気機器	2.79%
5 日本たばこ産業	食料品	2.52%
6 KDDI	情報・通信業	2.48%
7 東海旅客鉄道	陸運業	2.46%
8 住友商事	卸売業	2.22%
9 野村ホールディングス	証券、商品先物取引業	2.19%
10 三菱商事	卸売業	2.08%
合計		27.20%
組入銘柄数		159銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+0.08%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前月末比▲1.22%となりました。当月の日本株式市場は純資産利回りが高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託はこれらの銘柄をベンチマークに対して多めに保有していたことはプラスに寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、上昇した電気機器を少なめに保有していたことや下落した石油販売を多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、上昇した飲料・タバコおよび輸送を多めに保有していたことはプラスに寄与しました。一方、個別銘柄ではベンチマーク対比で、下落した野村ホールディングス(8604)およびJFEホールディングス(5411)を多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、上昇した日本たばこ産業(2914)および日本電信電話(9432)を多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 5ページ~9ページに記載されている「*1~*7」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

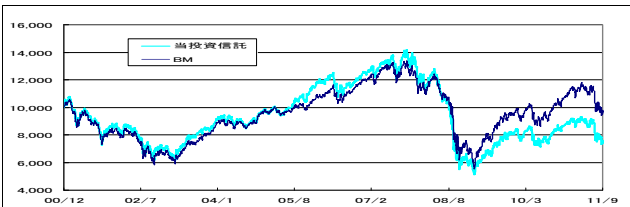
変額個人年金保険

特別勘定の月次運用レポート (2011年9月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 世界株式 [2011年9月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲6.80%	▲15.69%	▲17.82%	▲8.28%	▲10.75%	▲25.33%
BM	▲5.31%	▲13.49%	▲14.11%	▲2.10%	4.64%	▲2.84%
差	▲1.49%	▲2.21%	▲3.71%	▲6.18%	▲15.39%	▲22.49%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCIワールド・インデックス®(税引前配当金込/為替ヘッジあり/円ベース)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 国/地域別構成比率

国名	マザーファンド
1 アメリカ	48.12%
2 イギリス	11.07%
3 日本	5.59%
4 ドイツ	3.18%
5 パミューダ	2.67%
6 アイルランド	2.56%
7 フランス	2.55%
8 ジャージー	1.91%
9 その他の国/地域	18.52%
10 現金等	3.83%
合計	100.00%

○ セクター別構成比率

セクター	マザーファンド
1 情報技術	23.47%
2 一般消費財・サービス	13.45%
3 金融	13.30%
4 生活必需品	10.36%
5 エネルギー	9.63%
6 資本財・サービス	9.53%
7 ヘルスケア	8.82%
8 素材	7.61%
9 その他のセクター	0.00%
10 現金等	3.83%
合計	100.00%

○ 組入上位10銘柄

銘柄	国名	セクター	業態	マザーファンド
1 アップル	アメリカ	情報技術	パソコン	4.07%
2 プリティッシュ・アメリカン・タバコ	イギリス	生活必需品	たばこ	2.84%
3 IBM	アメリカ	情報技術	コンピューター	2.14%
4 オラクル	アメリカ	情報技術	ソフトウェア	1.90%
5 グーグル	アメリカ	情報技術	インターネット	1.74%
6 クアルコム	アメリカ	情報技術	通信システム	1.73%
7 アンハイザー・ブッシュ・インベ	ベルギー	生活必需品	ビール	1.71%
8 ダナハー	アメリカ	資本財・サービス	工具・通信部品	1.54%
9 プロクター・アンド・ギャンブル	アメリカ	生活必需品	家庭用品・化粧品	1.50%
10 シヤイア	ジャージー	ヘルスケア	バイオ医薬品	1.44%
合計				20.60%
組入銘柄数				114銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比▲6.80%となりました。一方、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックス(税引前配当金込/為替ヘッジあり/円ベース)の騰落率は前月末比▲5.31%となりました。(以下、委託会社独自のセクター別で記載。)

ベンチマークとの比較では、セクター配分はかろうじてプラス寄与したものの、銘柄選択が大幅にマイナス寄与となりました。セクター配分では、公共事業セクターや電気通信サービスセクターのアンダーウェイトがマイナス寄与する一方で、情報技術セクターのオーバーウェイトや金融セクターのアンダーウェイトなどがプラスに寄与しました。銘柄選択では素材、エネルギー、金融セクターなどにおける選択がマイナス要因となりました。

当投資信託では、引き続き、健全な財務体質を保持し、確実な成長が期待できる情報技術をオーバーウェイトとしています。消費関連では、一般消費財・サービスをオーバーウェイトとする一方、生活必需品やヘルスケアはアンダーウェイトとしています。金融セクターは引き続きアンダーウェイトとしています。

今後も、アナリストによる徹底した企業分析を通じて、成長が見込まれ、かつ株価水準が妥当な優良銘柄を選別する方針です。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・5ページ~9ページに記載されている「*1~*7」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

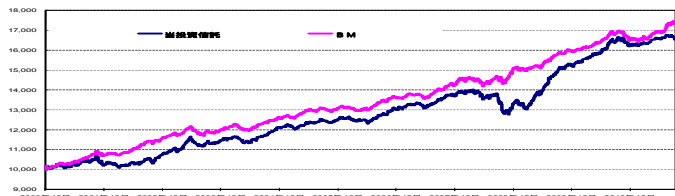
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険 特別勘定の月次運用レポート (2011年9月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 世界債券 [2011年9月 末日現在]

■当投資信託の純資産価格の推移



※ 2000年12月21日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

投資信託	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲0.69%	0.06%	1.51%	0.18%	24.49%	117.85%
BM	0.60%	2.97%	4.70%	2.79%	20.20%	132.46%
差	▲1.29%	▲2.91%	▲3.19%	▲2.61%	4.29%	▲14.61%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(1996年11月20日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、パークレイズ・キャピタル・グローバル総合インデックス⁷です。

・比率は、投資信託組入銘柄に対する比率となります。

■当投資信託の詳細情報

○ 国別構成比率

順位	国名	投資信託
1	アメリカ	33.30%
2	カナダ	10.41%
3	イギリス	9.93%
4	フランス	5.93%
5	オランダ	5.46%
6	オーストラリア	4.51%
7	ニュージーランド	4.03%
8	スウェーデン	2.95%
9	その他	15.01%
10	現金等	8.47%
合計		100.00%

○ 格付別構成比率

格付	投資信託
AAA	44.84%
AA	18.37%
A	21.35%
BBB	14.54%
BB	0.90%
合計	100.00%

注) 現金等はAAAに含まれます。

格付基準:

※ ムーディーズ社またはスタンダード&プアーズ(S&P)社のうち、いずれか高いほうを採用しています。

○ 債券種別資産構成比率

順位	債券種別	投資信託
1	投資適格社債	32.83%
2	国債	31.33%
3	政府関連債	10.45%
4	モーゲージ・パス・スルー証券	4.60%
5	インフレ連動債	2.83%
6	カバード・ボンド	2.64%
7	商業用不動産担保証券	2.37%
8	国際機関債	1.52%
9	その他	2.96%
10	現金等	8.47%
合計		100.00%

○ 組入上位10債券種類

順位	銘柄	国名	格付		投資信託
			ムーディーズ	S&P	
1	カナダ国債(3/15/14-6/1/15)	カナダ	Aaa	AAA	9.21%
2	アメリカ国債(2/15/15-11/15/18)	アメリカ	Aaa	AA+	7.47%
3	ファニーメイ(9/1/29-9/1/41)	アメリカ	Aaa	AA+	4.49%
4	ニュージーランド国債(4/15/15-12/15/17)	ニュージーランド	Aaa	AA+	3.69%
5	フランス国債(12/26/12)	フランス	Aaa	AAA	2.75%
6	ドイツ復興金融公庫債(1/29/14-8/12/15)	ドイツ	Aaa	AAA	2.16%
7	イギリス国債(8/25/17-6/7/21)	イギリス	Aaa	AAA	2.11%
8	アメリカインフレ連動債(7/15/13)	アメリカ	Aaa	AA+	1.93%
9	南アフリカ国債(1/15/14-9/15/17)	南アフリカ	A3	A	1.82%
10	日本国債(9/20/12-3/21/16)	日本	Aa3	AA-	1.58%
合計					37.21%

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

○ 通貨別構成比率

順位	債券種別	投資信託
1	アメリカドル	99.75%
2	その他	0.25%
合計		100.00%

○ ポートフォリオの状況

平均デュレーション	投資信託
2.41	

※ 「平均デュレーション」とは、当ファンドの組入銘柄のデュレーションを平均したものです。債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の感応度を示します。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

当投資信託の騰落率は前月末比▲0.69%、一方、ベンチマークであるパークレイズ・キャピタル・グローバル総合インデックスは前月末比+0.60%となりました。9月のパフォーマンスの主なマイナス要因は、金融銘柄の保有比率を高めたこととデュレーションを短めにしていたことです。金融銘柄では、特に米国の金融銘柄のスプレッドが急拡大し、欧州不安の世界的な拡大を示しています。

欧州周縁国を低めにしたことが引き続きパフォーマンスにプラス寄与しました。証券市場プログラムによる継続的な欧州債務懸念国の国債購入にもかかわらず、市場は長期的な解決が見えないことから、ますます神経質になっており、スプレッドは拡大しました。日本国債の組み入れを低めとしたこともプラスに要因となりました。リスク削減環境では当然のことながら、米国債や英国債の利回りは日本国債より大幅に低下しました。

当投資信託は、欧州周縁国の債券について、ソブリン債務危機が完全に収束するまで、引き続き概ね投資を避ける方針です。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・5ページ~9ページに記載されている「*1~*7」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

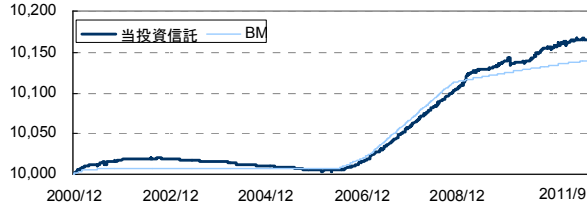
変額個人年金保険

特別勘定の月次運用レポート (2011年9月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 マネープール [2011年9月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募)
 【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲0.02%	▲0.01%	0.02%	0.12%	0.68%	1.64%
BM	0.01%	0.02%	0.04%	0.08%	0.34%	1.40%
差	▲0.03%	▲0.03%	▲0.02%	0.04%	0.34%	0.24%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日本円無担保コールオーバーナイト物レート⁵⁾により日々運用したときに得られる投資収益を指数化したものです。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	0.36年	30.47%
国債	1.47年	3.42%
地方債	0.00年	0.00%
特殊債・財投債	0.00年	0.00%
金融債	0.00年	0.00%
社債等	0.22年	27.05%
その他	0.00年	0.00%
短期資産等	0.48年	69.53%
CD		0.00%
CP		0.00%
TB/FB		67.36%
コールローン		2.18%
その他		0.00%
合計	0.44年	100.00%

○公社債の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
AAA	7.54%
AA	84.98%
A	7.48%
BBB	0.00%
BB以下(無格付含)	0.00%
合計	100.00%

格付基準 ※ 海外格付機関の格付を優先します。 ※ コールローンは格付別構成比率には含めていません。

※ 海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付けを採用します。

※ F/B等国債同等の無格付短期資産においては短期格付をP-1格とします。

※ TB/FBに分類された1年未満の国債については「○公社債の格付別構成比率」に含めています。

○短期資産等の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
P-1	100.00%
P-2	0.00%
P-3	0.00%
無格付	0.00%
合計	100.00%

※ 「TB/FB」には、残存期間が1年未満の国債を含みます。

※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比▲0.02%、一方、ベンチマークである日本円無担保コールオーバーナイト物レートは前月末比+0.01%となりました。9月の日本経済指標は大震災後の回復力に低下がみえ始めました。8月の鉱工業生産は前月比0.8%と5ヶ月連続の上昇となったものの市場予想の1.5%を大きく下回りました。9月の製造業PMIは49.3と4月以降初めて50を下回り、7月の機械受注は前月比で▲8.2%と2ヶ月ぶりにマイナス領域に入りました。これらは円高や世界的な需要の減少を背景に、今後更に景気減速感が強まることを示唆しています。一方、8月の貿易統計輸出総額は前年同月比2.8%と前月の▲3.4%からの大幅な上昇となりました。債券市場では2年国債利回りは前月比で0.007%上昇の0.147%となりました。当月の当投資信託は、償還を迎えた国債の資金で第3回ポーランド共和国国債債券を購入しました。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・5ページ～9ページに記載されている「*1～*7」の用語説明は、9ページに記載しています。

用語説明

- *1 「東証株価指数(TOPIX)」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下株東京証券取引所)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は株東京証券取引所が有しています。株東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- *2 「S&P500種株価指数」とは、スタンダード・アンド・プアーズ社が公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード・アンド・プアーズ社に帰属しています。S&P500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、S&P500種株価指数(米ドルベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- *3 「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc.の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、MSCI欧州株価指数(ユーロベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- *4 「日興債券パフォーマンス・インデックス(総合)」とは、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社が発表している、日本の債券市場の動きを表す指数です。国債、地方債、政府保証債、財投債、金融債、事業債などの円建て公募利付債で構成されています。対象となる債券は残存年数1年以上、残存額面10億円以上で、格付機関からBBB格相当以上の格付を取得している発行体に限られます。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は日興コーポリアル証券株式会社に帰属します。また、日興コーポリアル証券株式会社は同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。
- *5 「日本円無担保コールオーバーナイト物レート」について、コール市場とは、民間金融機関が短期的な手元資金の余剰や不足を調整するための市場をいいます。このコール市場において、金融機関間で、担保なしで、翌日に返済することを条件に、短期の資金を貸し借りする取引に適用される金利を「無担保コールオーバーナイト物レート」といいます。
- *6 「MSCIワールド・インデックス」とは、MSCI Inc.が世界の先進国株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。MSCIワールド・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCIワールド・インデックス(税引前配当金込/為替ヘッジあり/円ベース)は、MSCIワールド・インデックス(米ドルベース)をもとに、為替ヘッジにかかる費用相当分を考慮して委託会社が円ヘッジベースに換算したものです。
- *7 「パークレイズ・キャピタル・グローバル総合インデックス」とは、パークレイズ・バンク・ビーエルシーの投資銀行部門であるパークレイズ・キャピタルが開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、世界の投資適格債券市場のパフォーマンスをあらわします。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はパークレイズ・キャピタルに帰属します。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険のリスク及び諸費用について ①

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、主として国内外の株式および公社債を主要投資対象とする投資信託を利用して運用され、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払い戻し金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

ご契約者などにご負担いただくこの保険の諸費用は、次のとおりです。

<年金支払開始日前>

●特別勘定のユニットプライス(単位価格)を計算する前にご負担いただく費用

項目	時期	費用	備考
契約初期費用 (増額費用)	特別勘定繰入前	保険料の 2.0%	保険料から契約初期費用として2.0%が控除された後の金額が積立金として特別勘定で運用されます。 (増額費用も同じ)
保険契約管理費 (積立金比例額)	毎日	特別勘定の積立金総額に対して 年率1.2%	当社の経費に充当されます。 (基本保険金額を死亡時に最低保証するための費用および災害死亡保険金のための費用を含みます。)

* 毎日その日の始めの特別勘定の積立金総額に年率1.2%の365分の1を乗じた金額を毎日その日の終わりの特別勘定の積立金総額から控除します。

●ご契約の内容と取引の内容による費用

特別勘定のユニットプライス(単位価格)を計算した後にご負担いただく費用は、次のとおりです。

項目	時期	費用	備考
保険契約管理費 (件数比例額)	月単位の契約応当日	毎月 100円	契約1件あたり毎月の契約応当日の前日の積立金の合計額から控除します。
積立金移転費用	移転時	<書面による移転申込みの場合> 1回目 1,500円 2回目以降は1回につき 2,300円 ^(*)	毎回の移転について積立金から控除します。
		<インターネットによる移転申込みの場合> 月1回の積立金の移転は 無料 2回目からは1回につき 800円 ^(*)	1か月に2回以上積立金の移転を行なう場合、2回目からの移転について積立金から控除します。
貸付利息	月単位の契約応当日 および 貸付金の返済時	貸付金額の年利 1.2%	貸付金制度を利用されたとき、月単位の契約応当日および貸付金の返済時に、積立金から徴収します。
解約控除	解約時	積立金額の 8.0%~0.8%	解約日が契約日または増額日より起算して10年未満の場合には、経過年数(1年未満切り上げ)に応じて、積立金額に対して解約控除率(8%から0.8%)を乗じた金額を積立金額から控除します。
	減額時	減額に相当する積立金額の 8.0%~0.8%	減額日が契約日または増額日より起算して10年未満の場合には、経過年数(1年未満切り上げ)に応じて、減額に相当する積立金額に対して解約控除率(8%から0.8%)を乗じた金額を減額に相当する積立金額から控除します。

(*) 月単位の契約応当日から翌月の契約応当日の前日までに積立金移転を行なった回数

※ 貸付制度は、ご契約が成立後、会社の定める範囲内で何回でも貸付を受けることができます。

※ 将来、上記の内容が変更になることがあります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険のリスク及び諸費用について ②

●その他間接的にご契約者にご負担いただく運用関係の費用は、次のとおりです。

項目	時期	費用	備考
運用関係費	毎日	ライフ・ソリューション30 年率 0.945%程度 (税抜0.900%程度)	特別勘定が利用する投資信託の純資産額に対して控除いたします。
		ライフ・ソリューション50 年率 1.050%程度 (税抜1.000%程度)	
		ライフ・ソリューション70 年率 1.155%程度 (税抜1.100%程度)	
		日本株式 年率 0.840%程度 (税抜0.800%程度)	
		世界株式 年率 0.8925%程度 (税抜0.850%程度)	
		世界債券 年率 0.650%程度 ^{*1}	
		マネーパール 年率 0.034125%～年率0.483000%程度 (税抜0.0325%～0.4600%程度) ^{*2}	

※ 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。

信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料及び消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの諸費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。

これらの運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

*1 世界債券のみ、ルクセンブルグ籍の投資信託を使用しているため、管理報酬等を記載しております。

管理報酬等には、予め定率として決められている管理報酬および管理会社報酬が含まれます。

その他、お客さまにご負担いただく手数料には、保管報酬、管理事務代行報酬、名義書換代行報酬、ルクセンブルグ大公国の法令に基づく税金等、有価証券の売買手数料、保有する有価証券の譲渡・償還益および配当やクーポンに対する源泉徴収税等の諸費用がかかりますが、運用資産額の取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。

*2 マネーパールの運用関係費は、各月の前月最終5営業日における無担保コールオーバーナイト物レートの平均値に応じて毎月見直されます。

<年金支払開始日以後>

●年金支払開始日以後にご負担いただく費用

項目	時期	費用	備考
年金管理費	年単位の 契約応当日	支払年金額の 1.0%	年金支払開始日以後、年単位の契約応当日に責任準備金から控除されます。

※ 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>